

G7 広島サミットでも使用された

共有船『SEA SPICA』



船名の由来

「SPICA」とは、豊穡の女神を象徴する乙女座の一等星で、日本名を真珠星と言います。本船が瀬戸内の海で青白く美しい輝きを放ちながら、皆さんを自由に開放的な旅に誘いたい、という思いを込めて命名されました。

瀬戸内島旅クルーズの魅力に迫る

今回は、2020年10月に就航した鉄道・運輸機構（JRTT）と㈱瀬戸内島たびコーポレーションとの共有船である、高速クルーザー「SEA SPICA」をご紹介します。

2023年5月19日～21日に広島県広島市で開催された先進国首脳会議（通称：G7広島サミット）。本船は広島県廿日市市にある宮島への各国首脳陣の移動手段として使用されました。船内は現在も「G7広島サミット」のロゴが入ったシートが期間限定で設置されており、当時の雰囲気を楽しめる空間となっています。

船内はG7広島サミット当時の仕様のまま！（※2023年10月末現在）



運航ルート

●東向きコース

1 呉基地沖



航行中の潜水艦と遭遇

2 音戸の瀬戸



平清盛伝説も残る音戸の瀬戸

3 下蒲刈島



島全体が庭園のような美しさ

4 ちきりしま 契島



瀬戸内の軍艦島とつながる

5 おおくのしま 大久野島



うさぎたちと癒しのひととき

6



美しい島々を望む

瀬戸田港沖

瀬戸内の多島美と島旅の魅力

風光明媚な瀬戸内を巡る「SEA SPICA」のクルージングでは、きらめく碧い海と緑の島が織りなすコントラストを楽しみながら、瀬戸内の魅力を五感で感じることができます。

今回は広島港から三原港までを結ぶ、約4時間半の運航ルート（東向きコース）のうち、2カ所の寄港地をご紹介します。

1カ所目の下蒲刈島は、松の木や石畳が美しい庭園のようなのどかな島です。海上交通の要所として栄えた歴史ある町並みが楽しめます。また、港では島の特産物を販売する皆さんが温かく出迎えてくれます。

2カ所目は500羽以上にも及ぶうさぎが生息していると言われる大久野島です。この島ではかわいいうさぎと触れ合い、癒しのひとときを過ごすことができるのも魅力のひとつです。

G7でも操船した清水船長からの Message

コロナ禍が明けて、これからより多くのお客様に乗りいただき、本船の魅力を感じてもらいたいです。



●SEA SPICA

旅客定員：90名 航海速度：22ノット（約40km/h）
長さ：25.7m 総トン数：90トン
建造造船所：瀬戸内クラフト（株）
竣工年月：2020年8月

●受賞歴

2020年度グッドデザイン賞・ベスト100
グッドフォーカス賞【地域社会デザイン】
シップ・オブ・ザ・イヤー2020・小型客船部門賞

